



がっこう 学校だより

北区立都の北学園

令和7年9月1日

戦後80年

校長 宮入 祥郎

44日間の長い休みが明けて、いよいよ学校生活が再開いたしました。本日、児童・生徒が元気良く登校してきた姿を見て、安心するとともにやる気が増大いたしました。長い夏季休業中に、ご家庭ではお子様との時間のために、工夫や苦勞をなされたことと存じます。本日より再開した学校生活に、児童・生徒が支障なく移行できるよう、教職員一同努力してまいります。お子様のことで、心配や相談事等がございましたら、お早めに担任等の本校教職員にご相談いただきますよう、お願い申し上げます。

さて、標記したとおり今年には戦後80年にあたり、そのことに関連した放送や記事にたくさん触れることができました。そして、改めて平和を維持することの大切さや、その難しさについて考えさせられました。

広島市の平和記念式典における子ども代表（小6児童2名）による「平和への誓い」では「どんなに時が流れても、あの悲劇を風化させず、記録として被爆者の声を次の世代へ語り継いでいく使命が、私たちにはあります。」と述べ、さらに「一人一人が相手の考えに寄り添い、思いやりの心で話し合うことができれば、傷つき、悲しい思いをする人がいなくなるはずです。」「大人だけでなく、子どもである私たちも平和のために行動することができます。」と言っており、未来を築いていく児童の言葉として、頼もしさを感じました。

一方で、漫画「はだしのゲン」の作者・中沢啓治氏による生前のインタビュー再掲記事は、次の言葉で結ばれていました。〔中沢〕「(自身の講演会の)聴衆の感想は『原爆と戦争がこんなに悲惨なもんだとは知りませんでした。真実を教えてください』というのが昔も今も圧倒的。学校で教えないんでしょうか。あの悲惨さだけは子々孫々、とことん教えていかなきゃ」とありました。私も教壇に立っていた時代は、社会科教員の一人として、教育課程内で許される限りの時間を掛けて必死に伝えてきたつもりでしたが、この中沢氏のコメントを読んで、「まだまだ足りなかったのかもなあ」と自問を繰り返しました。戦争を直接体験していない世代ではありますが、前述の「子ども代表」の主張である「次の世代へ語り継いでいく使命」を果たせるように、「これからも諦めずに努力していかななくてはならない」と再認識した夏でした。

岩井移動教室(第4学年)

副校長 小島 由子

7月1日(火)から2日(水)の1泊2日で4年生の岩井移動教室が行われました。

1日目は都内をバスで抜け、海ほたるで休憩後、房総に入りました。渚の博物館(館山市立博物館分館)では房総の漁業に関わる文化や漁民の生活などを知り、さかなクンのイラストと水槽内の魚たちを見て楽しみました。昼食後、岩井海岸で海岸実習。貝殻やシーグラス、マイクロプラスチックを拾い、学園内で作品に仕上げました。夜の体育館でレクリエーションは汗ばむぐらいの大盛り上がりでした。

2日目は、鴨川シーワールドに行きました。シャチのショーでは、濡れても大丈夫な準備をしっかりと行って、楽しんでいる児童もいました。所どころ生活面での課題を指摘されましたが、来年度は今回の経験を生かした立派な5年生としての自然体験教室になることを期待しています。



渚の博物館



海岸実習



学園での1コマ

EC(イングリッシュキャンプ)(第8学年)

副校長 根本 誉

7月6日(日)から8日(火)まで8年生は2泊3日のECに参加してきました。今回はフィリピン・タイ・インド・イタリア・エチオピア・インドネシア・カナダ・マレーシア・ベナン・ミャンマー・スウェーデン・ケニアの12カ国から計15名の「キャプテン」が参加し、各グループの活動を支援してくれました。EC当初は緊張の面持ちだった8年生も、アイスブレイク等の活動を通して仲間やキャプテン、現地スタッフと関わるうちに次第に表情が和らぎ、ECの世界に没頭していきました。

ECのプログラムにおけるクライマックスは3日目の午前中に実施するICP(インターナショナル・カルチュラル・プログラム)と名付けられた、各キャプテンの出身国の文化における音楽や踊り、伝承、風習にちなんだオリジナルのパフォーマンスを各グループが発表する時間です。初日の夕方からキャプテンを囲んでICPに向けた練習が始まると、「英語を学ぶ」というより「英語で文化を学ぶ」場面が増え、ECらしさが増していきました。8年生が練習に素直に真摯に取り組む姿は今後のさらなる活躍を確信させてくれるほどのものでした。

ICPの本番では全員が練習の成果を存分に発揮し、大変盛り上がりました。歌、踊り、劇、プレゼンテーションとパフォーマンスの形態は多岐に渡りましたが、一貫して感じたのは世界の様々な文化には独自の良さがあること、そして互いの文化を尊重して共に協力することの素晴らしさでした。ECのプログラムとして2日目の夜に行われたキャンプファイヤーで皆が誓った言葉がまさにそのことを表していましたので、ここで紹介します。「私たちはここにいる全てのキャプテンの国の文化や思想を重んじ、平和な世界を築くことを誓います。」

今回のECで8年生は懸命に取り組んだ結果、英語だけでなく、今後の人生を豊かにし、世界をより良い場所にするための貴重な学びを得ることができました。今後の人生において今回得た学びを大切に歩いてほしいと思います。



しらかば荘中庭でのキャンプファイヤー



キャプテンたちとの記念撮影

町たんけん(第2学年)

7月3日(木)及び7日(月)に、生活科の学習活動として、2年生の「町たんけん」が行われました。学校周辺の地域を、改めてよく見て歩き回りました。児童たちは、みんなでお出かけすることが楽しかったようですが、それぞれにちょっとした発見があったことと思います。

今回の学習活動に、ボランティアで有志の保護者の皆様が協力してくださいました。ご参加いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。



スクールコンサート(第7～9学年)

7月11日(金)本校アリーナAにおいて、アンサンブル・ルヴァンによるスクールコンサートが開催されました。“ルヴァン”(le vent)とは、フランス語で「風」という意味で、管楽器が「息」を使って音を出すことに由来しているそうです。

プログラムでは、ジブリメドレーや威風堂々など有名な曲や、特別企画として「校歌メドレー」では、本校の校歌はもとより、神谷小、稲田小、神谷中の校歌も演奏していただいたので、懐かしく聴き入った生徒も多かったようです。楽器紹介コーナーや、代表生徒による指揮者体験コーナーなどもあり、コンサートは、あっという間に終了しました。



道徳授業地区公開講座

7月12日(土)道徳授業地区公開講座を行いました。全9学年が一斉に道徳の授業を公開しました。各学年で授業の主題と教材を統一して、学級ごとに授業を行いました。ご参観ありがとうございました。

授業後の意見交換会は、学年ごと(後期課程は3学年合同)で行いました。意見交換会は、協力してくださった保護者と学校運営協議会委員の皆様と教員で進めました。特に協議会委員の方々には、地域講師としての役割を担っていただきました。ご参加の保護者・地域の皆様、ありがとうございました。



自分の心と体を守るための性教育(第9学年)

7月14日(月)本校アリーナAにおいて、9年生及び保護者対象の標記性教育を実施いたしました。講師の先生は、赤羽駅前女性クリニック、ピュールレディースクリニック 錦糸町院統括院長の深沢瞳子先生でした。先生の鮮明な話術による説明のおかげで、心・体の変化や妊娠・出産・避妊等の基礎的な知識に留まらず、「本当に好きな相手に対する言動とは」のようなことを考えさせられ、性暴力・性的同意等についての理解を深める機会にもなりました。



非行のない明るい街づくり住民大会

7月16日(水)赤羽会館講堂で、非行のない明るい街づくり赤羽連絡協議会及び赤羽警察署主催の住民大会が開催されました。

オープニングは本校音楽部による箏の合奏でした。会場を穏やかな雰囲気してくれました。メインの意見発表の部では、本校からは8年・杉本さんが『推し』と転売』のテーマで意見を披露してくれました。



音楽部



意見発表の表彰

岩井臨海学園(第7学年)

7月21日(月)～23日(水)の2泊3日、北区立岩井学園及び久枝海岸において、7年生対象の岩井臨海学園が行われました。7年生の実行委員会では「メリハリをつける・ルールを守る・時間を守る・協力する」のスローガンを定め、臨海学園の成功を目指しました。

メインの「ライフセービングプログラム」では、各班担当のライフセーバーの方から、様々な体験的な学習

を通して、命の大切さ・自分の命や他人の命の守り方、そして自然（海）と上手に付き合う方法・心構え等を学ぶことができました。夜のレクリエーションの時間では、レク係の頑張りにより他の生徒も協力し、学園の体育館において皆で楽しい時間を過ごすことができました。

小学校時代にも利用したことのある岩井学園でしたが、7年生は後期課程「生徒」として立派に施設を利用しました。特に、食事の下膳で学園の方々に褒められたこと、就寝準備が素晴らしく、十分な睡眠を確保できたこと等が、今回の成果でした。



日光高原学園(第6学年)

7月31日(木)～8月2日(土)の2泊3日で、6年生対象の日光高原学園が行われました。宿舎のある奥日光の湯元は大変涼しく、エアコンの無い部屋でも眠れる環境を体験できただけでも価値あるものでした。台風が関東に接近しており、その進路が気になるころでしたが、輪王寺・日光東照宮、ナイトハイク、湯乃湖・湯滝・戦場ヶ原周辺ハイキング、湯元散策(足湯・源泉)、華厳の滝、栃木県立日光自然博物館等のプログラムは、ほぼ予定どおり体験することができました。2日目のハイキングは多くの児童が少々疲れてしまったようでしたが、その日の午後に訪れた「足湯」は、疲れた足を癒してくれました。

宿舎での生活では、いくつかの成果を得ました。特に、浴室の使い方や片付け、寝具のシーツ・カバー類の片付け等が立派でした。来年度以降の後期課程の宿泊では、さらに発展させてくれることを期待しています。



「すごいお寺だなあ」



「足湯はいいよなあ」「そうだね」



華厳の滝でポーズ

9月の主な予定

1日(月) 避難訓練、午前授業	16日(火) 安全指導日、身体計測(1年)
2日(火) 身体計測(6年)、給食始	17日(水) 学校ファミリーの日・午前授業
3日(水) 身体計測(5年)	(6年2組は5校時研究授業)
定期考査1週間前(7～9年)	19日(金) 4組・特支学級見学・説明会 14:30
4日(木) 身体計測(4年)	24日(水) 午前授業
5日(金) 身体計測(3年)・(6組)	北区教育研究会(教職員)
租税教室(6年)	26日(金) 北区中学校連合体育大会(予備日29日)
8日(月) 脊柱側弯検診(5・7年)	27日(土) 土曜日授業(公開)
9日(火) 身体計測(2年)	神谷地区少年の主張発表会(6～9年)
10日(水) 定期考査Ⅱ(7・8年)	前期課程保護者会 10:30～
セーフティ教室(1～6年)	5年・岩井説明会 10:30～
6組・特支学級見学・説明会 15:40	P T A臨時総会 11:30～
11日(木) 定期考査(7～9年)	28日(日) 開校記念日
スクールコンサート(1～6年)	29日(月) 部活動説明会(6年)
12日(金) 定期考査(7～9年)	30日(火) 農業体験・稲刈り(5・8年)

【お知らせ】4年2組担任・松澤史織教諭におかれては、9月10日より産前産後休暇に入ります。後任には松丸歩教諭が着任いたします。松丸教諭は引き継ぎのため、9月1日より勤務しております。